INFORMATION 【期間：平成23年－24年】

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/29639

INFORMATION

【期間：平成23年－24年】

第27回日本臨床細胞学会 石川県支部学術集会

日　時：平成23年1月30日（日）11時－17時
場　所：金沢大学医学部教育棟第一講義室
セッション：一般演題　5題
　　スライドセミナー　3題
　　教育講演「新しい腎盂・尿管・膀胱癌取扱い規約と尿細胞診」
　　埼玉医科大学国際医療センター病理診断科 村田晋一 教授
世話人：金沢大学大学院医学系研究科分子細胞病理学　鈴木潮人

金沢大学政策課題対応推進シンポジウム「食」による生活習慣病予防医学の展開シンポジウム

開催日：平成23年2月3日（木）
場　所：KKRホテル金沢　鳳凰の間
時　間：午前9時10分から午後6時25分まで
主　催：金沢大学“「食」による生活習慣病予防医学の展開”研究グループ，フロンティアサイエンス機構
共　催：(独)農業食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター，イノベーション創出基礎的研究推進事業
　　学内外から計11題の基調講演と2題の特別講演で構成されるシンポジウム。東北大学大学院農学研究科宮澤陽夫教授による「レドックス感受性脂質からみた食品抗酸化物質の機能」と東京大学農学研究科 阿部啓子教授による「“食と健康”の基礎農学と産業科学－回顧と展望」が特別講演となる。
連絡先：「食」による生活習慣病予防医学の展開研究グループ
　　（代表：井上啓　金沢大学フロンティアサイエンス機構，メンバー：尾崎紀之，山本靖彦，太田嗣人，檜井栄一）

生化学特別セミナー

タイトル：Phosphorylation of The NFAR Proteins Constitutes A Novel Mechanism of Translational Regulation and Cellular Defence
米国マイアミ大学医学部の原島　愛博士をお招きして，ウィルス感染とそれに対する宿主防御機構の最新のトピックについての特別講演会を開催。
演　題：Phosphorylation of The NFAR Proteins Constitutes A Novel Mechanism of Translational Regulation and Cellular Defence
演　者：原島　愛博士　Postdoctoral fellow（Glen N. Barber Lab），Department of Medicine and Sylvester Comprehensive Cancer Center, University of Miami School of Medicine, Miami, FL, USA.
日　時：2011年2月4日（金）午後1時半－2時半
場　所：F棟1階修士課程セミナー室

第40回北陸実験動物研究会

テーマ：体細胞の初期化機構とその応用
日　時：平成23年4月9日（土）14時から
場　所：金沢大学医薬保健医学類 G棟第3講義室

北陸実験動物研究会は，北陸地区の大学や公的研究所，民間企業において，実験動物や動物実験に携わる研究者や技術者などが中心になって活動しているもので，平成7年に設立され，今回で40回の節目の開催を迎えます。第40回研究会は，「体細胞初期化機構とその応用」のテーマで，京都大学iPS細胞研究所の堀田秋津先生に「iPS細胞が分化万能性を獲得する過程におけるクロマチン高次構造の変化」の講演，鳥取大学染色体工学研究センターの多田政子先生に「体細胞核の初期化と創薬利用を目指した幹細胞加工技術開発」の講演をお願いしました。

金沢大学公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は，7-8，1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています。毎回，疫学・統計解析，アレルギー・内分泌代謝研究，社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています。学内外問わず，どなたでも参加できます。

入場は無料で，事前の申込は必要ありません。部分聴講も可能です。

開催場所：医学類F棟1階　修士課程セミナー室

開催日時：5月12日（木）

18:00～18:30　中村裕之（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 教授）
「よくわかる統計学①」

18:30～19:30　「騒音と低周波の最近の話題－その基準をめぐって」

問い合わせ連絡先：医薬保健研究域医学系　環境生態医学・公衆衛生学教室　TEL：076-265-2218, hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp
ホームページ　http://web.kanazawa-u.ac.jp/~med14/index.htm

国立大学法人動物実験施設協議会　施設長・教員・事務職員・技術職員懇談会

「動物実験に関する相互検証の申請実務と訪問調査への対応」

十全講堂及び医学部記念館に於いて5月13日に全国63の動物実験施設の教職員が参集し，第37回国立大学法人動物実験施設協議会（国動協）総会が開催され，教員と技術職員がそれぞれの立場から動物実験を取り巻く時事問題に関して討議される。平成18年文科省より「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」が告示されたことを受け，国動協は各機関が定める機関内規程ひな型，動物実験に関する外部評価システムとしての「動物実験に関する相互検証プログラム」を作成し，平成21年より同プログラムによる検証を開始した。現在，動物愛護管理法の見直しの検討が進む中，現制度の中で実験動物の福祉向上と動物実験における3Rの実効性を高めることが極めて重要となっている。金沢大学でも今年度中の検証に向けて準備を進めているが，外部検証の実施率を高めるために，相互検証プログラムへの申請実務について解説し，既に検証を受けた機関の体験を紹介する懇談会が企画された。また技術職員サイドでは，爆発的に飼養数が増大しているマウスの飼育管理の適正化や危機管理に関する討議が行われる。

第10回北陸地域アイソトープ研究フォーラム

本フォーラムはアイソトープ研究・教育に携わっている，北陸地域の大学・自治体・民間企業の研究者・学生・技術者等に，科学技術・研究開発の推進と安全の両面について幅広い視点から理解を深めてもらうために行っている。今回は山岡先生に低放射線量の健康への影響について，特に，低放射線量が人の健康増進に繋がる可能性についてご講演頂く。一般的に放射線の人体に与える影響については原爆等によるの高放射線量による障害や影響を基に検討されてきた。特に，発がんなどの障害についても高放射線量を基に議論されてきた。しかし，低放射線量の場合，免疫能力の亢進に伴う疾病への抵抗力や寿命の延伸など有益な効果がある可能性がある。この有益な効果は「放射線ホルミシス効果」と呼ばれており，いろいろな報告もされている。

今回は，低放射線量による人への有益な効果について，様々な事例を紹介して頂く。

特別講演：低線量放射線の健康への影響と医療・健康増進への応用の可能性

講　　師：岡山大学大学院保健学研究科　山岡　聖典教授

開催日時：平成23年5月18日（水）15時～16時30分

開催場所：金沢大学医学部十全講堂

金沢国際がん生物学シンポジウム「分子生物学の明日ー金沢シンフォニー」（日本分子生物学会第11回春季シンポジウム）

開催時期・場所：5月25日，26日　石川県立音楽堂　交流ホール（金沢市）

計画概要　5月25日（水）　セッションⅠ：免疫・アレルギー・炎症の分子生物学
セッションⅡ：時間生物学
セッションⅢ：メタボリック症候群の分子生物学
特別講演Ⅰ：「Apoptosis, engulfment and then?」　京都大学大学院医学研究科・教授　長田　重一
International Symposium on Tumor Biology in Kanazawa（金沢国際がん生物学シンポジウム）
5月26日（木）　セッションⅣ：疼痛の分子機構
セッションⅤ：再生医学とエピジェネティクス
特別講演Ⅱ：「Klothoによって紡がれた生命の糸を解きほぐす」
（財）先端医療振興財団先端医療センター・センター長　鍋島　陽一
セッションⅥ：Leading Edge Ⅰ
セッションⅦ：Leading Edge Ⅱ

運営組織概要
主　催：金沢大学がん研究所，特定非営利活動法人日本分子生物学会
後　援：金沢国際がん生物学研究会，金沢大学十全医学会 等
金沢国際がん生物学シンポジウム組織委員会：佐藤　博，大島　正伸（以上金沢大学がん研究所）
日本分子生物学会第11回春季シンポジウム：世　話　人　平尾　　敦，
準備委員会　多久和　陽，佐藤　博，岩見　雅史，善岡　克次，山下　克美，仲　一仁
（以上金沢大学）

第48回日本消化器免疫学会総会

会　長：中沼　安二（金沢大学大学院医学系研究科　形態機能病理学）
会　期：平成23年7月21日～7月22日
会　場：金沢エクセルホテル東急　　金沢市香林坊2－1－1
目　的：消化器免疫学の研究，診療に携わる基礎医学と臨床医学の研究者が一堂に会し，消化器免疫機構や粘膜免疫の基礎的研究，さらに消化器疾患の病因・病態解明，さらには治療法開発を目指した最新の研究成果・知見を発表し，そして基礎医学と臨床医学各々の立場からの意見交換と交流を通して消化器免疫学のさらなる発展に貢献する
事務局　第48回日本消化器免疫学会総会　事務局
金沢大学大学院医学系研究科　形態機能病理学　実務担当　原田　憲一
TEL：076-265-2199　　FAX：076-234-4229

第21回 Neuroscience Seminar

「神経変性疾患におけるVCP蛋白質の役割」
京都大学大学院　生命科学研究科・高次生体統御学分野　垣塚　彰 教授
平成23年9月1日（木）18時30分～19時30分　金沢大学医学部F棟1階修士課程セミナー室

このたび，京都大学大学院生命科学研究科・高次生体統御学分野教授の垣塚 彰先生をお招きしてセミナーを開催致します。垣塚先生は，神経科学の分野では遺伝性脊髄小脳変性症の原因遺伝子を発見され，ポリグルタミン病の概念を提唱された方としてご高名ですが，最近は抗肥満・抗糖尿病作用をもつERRL1遺伝子の同定など，多方面で業績をあげられています。今回，学部学生の特別講義のために金沢にお越しいただく機会に御講演をお願いいたしました。大変興味深いお話を拝聴できるものと思います。どうぞお気軽に御参加ください。

第55回日本消化器画像診断研究会

本研究会は肝胆膵を中心とした症例の画像診断を臨床的・病理学的に検討し，医学の促進・発展を通じて，社会的に貢献することを目的としています。第55回の研究会には消化器内科，消化器外科，放射線科，病理の医師が一同に会し，厳選された多くの研究発表に対し，活発な討議がなされるものと予想されます。

開催日：平成23年9月2日～3日
場　所：金沢市文化ホール
問い合わせ先：金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学　TEL：076-265-2362　FAX：076-234-4260
（金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科）

第１回 ヘルスケア・コーチング研究会

ビジネス界で人材育成や目標達成に使われている「コーチング」という手法は，医療や介護の現場にも広がってきました。コーチングでは，「現状の確認 → 目標設定 → 現状と目標のギャップの確認 → 行動計画の立案 → 実行と見守り → 振り返りとフォロー」という流れに従って，傾聴と質問を主体に本人の力を引出します。医療や介護の分野でコーチングは，疾病の保健指導のみならず，人材の育成や組織の目標達成，個人の成長にも応用できます。多くの人に医療・介護場面で使えるコーチングを知っていただくために，9月4日（日）の午前9時20分から午後5時まで富山県教育文化会館で，「ヘルスケア・コーチング研究会」を行います。医療関係者および介護関係者はどなたでも参加していただけますので，ご興味がおありの方は，ぜひ，ご参加ください。

講演1：「コーチングが機能するために　～スキル以外の大切な要素～」

講演2：「相手の心に寄り添うサポートをするために　～医療者としてのコーチングの活用～」

ワークショップ1：コーチング・スキル「質問力」

ワークショップ2：コーチング・スキル「視点（意識）」

第28回日本臨床細胞学会北陸支部連合会学術集会

開催日：平成23年9月4日（日）11時～18時

内　容：・一般演題

・スライドセミナー

・教育講演「子宮内膜液状細胞診　－特にendometrial glandular and stromal breakdownの細胞像について－」

愛媛県立医療技術大学保健科学部臨床検査学科生体情報学講座　則松良明 教授

世話人：金沢市立病院　小林雅子

金沢大学公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は，7-8，1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています。毎回，疫学・統計解析，アレルギー・内分泌代謝研究，社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています。学内外問わず，どなたでも参加できます。

入場は無料で，事前の申込は必要ありません。部分聴講も可能です。

開催場所：医学類F棟1階　修士課程セミナー室

問い合わせ先：医薬保健研究域医学系　環境生態医学・公衆衛生学教室　　TEL：076-265-2218，hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp

ホームページ　http://web.kanazawa-u.ac.jp/~med14/index.htm

開催日時：9月8日（木）　18:00～18:30　中村裕之（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 教授）

「よくわかる統計学①（基礎編）」

18:30～19:30　神林康弘（金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 講師）

「多環芳香族炭化水素類（PAH）と疾患」

第16回呼吸器インターベンションセミナー
16th Annual Meeting of the Japanese Interventional Pulmonology Seminar in Kanazawa

会　期：2011年9月17日（土），18日（日）

会　場：加賀屋（石川県七尾市和倉町ヨ部80番地）

TEL：0767-62-4111　　http://www.kagaya.co.jp/index.php

日　程：2011年9月17日（土）　受付開始：午後1時　　セミナー開始：午後2時20分から

2011年9月18日（日）　セミナー終了：午前10時35分，現地解散

主　催：日本呼吸器内視鏡学会学術企画委員会

当番世話人：西　耕一（石川県立中央病院　呼吸器内科）

連絡先：〒920-8530　石川県金沢市鞍月東2-1　石川県立中央病院

TEL：076-237-8211（代表），FAX：076-238-2337（医局）　E-mail：koichi.n@ipch.jp

第52回日本組織細胞化学会総会・学術集会

会　長：井関尚一（金沢大学大学院医学系研究科組織発達構築学分野）
会　期：平成23年9月24日（土）～25日（日）
会　場：金沢大学宝町キャンパス
概　要：日本組織細胞化学会は，細胞と組織，個体におけるさまざまな生体分子の発現と局在やその変化を，主に顕微鏡を用いて明らかにし，可視化された情報からその物質の機能を解明することを目的とする。本学術集会のプログラムのうち，24日（土）14:30～16:30に十全講堂で行う次の2題の講演は，会員以外の教員・大学院生等に公開する。
1）高松賞受賞講演：藤本豊士教授（名古屋大）「電顕で脂質を見る」
2）特別講演：安藤敏夫教授（金沢大）「タンパク質分子の構造と動的挙動の高解像度撮影」

感染症問題をはじめとする環境課題に取り組む若手環境リーダー育成，交流プログラム　修了研修発表会

日　時：平成23年9月27日（火）14時－17時
場　所：金沢大学医薬保健医学類G棟第4講義室
連絡先：金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学　TEL：076-265-2229　FAX：076-234-4237

本プログラムは，感染症問題を含む環境問題に現に直面しているアセアン諸国の若手研究者に対して，わが国の保持する優れた感染症対策および環境保全に関するノウハウを網羅的に提供することを目的に平成22年10月より開始されました。今回，本プログラムに参加した7名の外国人留学生（インドネシア，タイ，ベトナム）による1年間の修了研修発表会を開催いたします。

特別講演会

日　時：平成23年10月3日（月）13：00－14：30
場　所：金沢大学医学類G棟第4講義室
演　題：ケニアにおける医学教育・研究事情
演　者：ナイロビ大学医学部長　Prof. Omwandho Charles Odero
ケニア中央医学研究所　所長 Dr. Mpoke Solomon Saningo Rianto
連絡先：金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学　TEL：076-265-2228　FAX：076-234-4237

学術講演会

日　時：平成23年10月8日（土）18：30－19：30
場　所：金沢大学医学類F棟1階修士課程セミナー室
演　題：ロタウイルス感染症の臨床；ワクチン導入に向けて
演　者：なかた小児科院長　中田　修二先生
連絡先：金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学　TEL：076-265-2228　FAX：076-234-4237

第2回　Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢プロバイダーコース

このたび，アメリカ合衆国（USA）における災害医学教育プログラムであるBasic Disaster Life Support（BDLS）プロバイダーコースを昨年に引き続き金沢で開催します。BDLSはBLS，BTLSと同様USAにおける災害の標準医学教育プログラムであり，アメリカ医師会（AMA）が運営するコースです。東日本大震災を経験し，災害に関する知識をもっと深めようと思われている方には最適なコースと思います。講義，スライドは全て日本語で行ない，内容はUSAそのままで開催します。
日　時：10月22日（土）8：00～19：00
場　所：金沢大学附属病院　宝ホール
対象者：救急隊，看護師，医師等の医療従事者　150名程度
参加費：12,000円（テキスト代，登録料含む）
講義内容：8時間の講義，筆記試験（全て日本語です。）
なお，受講修了後日，AMAより受講修了書が発行されます。

なお，不明な点がありましたら，金沢大学附属病院　集中治療部　谷口　巧
E-mail：kyukyu@med.kanazawa-u.ac.jp（集中治療部秘書　勝田）
TEL：076-265-2826もしくは076-265-2000（内線3423）まで

Phosphorylation of The NFAR Proteins Constitutes A Novel Mechanism of Translational Regulation and Cellular Defence

米国ハーバート大学医学部ジョスリン糖尿病センターのJongsoon Lee博士をお招きして特別講演会を開催。内容は肥満が引き起こす炎症が全身のインスリン抵抗性，そしてさらには糖尿病を発症する分子細胞機構の最新のトピック。

演　題：Obesity-induced inflammation and insulin resistance

演　者：Jongsoon Lee博士　Assistant Professor, Joslin Diabetes Center & Harvard Medical School, Boston, USA.

日　時：2011年11月7日（月）午後5時－6時

場　所：金沢大学医薬保健学域医学類F棟1階　　修士課程セミナー室

第113回消化器病学会北陸支部例会

日　時：平成23年11月13日（日）9時－17時

場　所：金沢大学十全講堂，医学類教育棟第3・4講義室

教育講演　　9時～12時

1. ErbBファミリー蛋白質群と細胞増殖シグナル　　山本　雅　東京大学医科学研究所　癌細胞増殖部門長，教授
2. 肝がんトランスレーショナルリサーチ　　中本安成　福井大学医学部第二内科（消化器・神経内科）教授
3. 膵癌の治療に必要な進展度診断－画像と病理標本との対比から－
   北川裕久　金沢大学大学院がん局所制御学（消化器・乳腺・移植再生外科）講師
4. SM早期胃癌の診断と治療－新しい治療法への取り組み　　伊藤　透　金沢医科大学　内視鏡科教授

一般演題　51題　13時～16時

専門医セミナー　16時～17時

当番会長：金沢大学大学院医学系研究科分子細胞病理学　大井章史

神経科学セミナー

テ ー マ：大脳皮質形成とスパイン形成の新たな共通分子基盤とその展開

講 演 者：佐藤　真先生（福井大学医学部形態機能医科学講座・教授）

開催日時：平成23年11月28日（月）午後5時45分～

開催場所：金沢大学医学類　G棟第4講義室

講演内容：胎生期における細胞移動は脳組織構築の重要な基盤の一つである。大脳皮質においては興奮性神経細胞と抑制性神経細胞が異なる皮質外部位で誕生し，それぞれ法線及び接線方向に皮質内に移入して，6層構造が形成される。本講演ではこの細胞移動の分子機構とその障害に関わる疾患とその治療に向けた取り組みについて述べる。

金沢大学政策課題対応推進シンポジウム

第2回「食」による生活習慣病予防医学の展開シンポジウム

開催日時：平成23年12月2日（金）午前9時30分～午後6時00分

場　所：KKRホテル金沢　鳳凰の間

主　催：金沢大学“「食」による生活習慣病予防医学の展開”研究グループ　及び　フロンティアサイエンス機構

学内外から計9題の一般演題と1題の基調講演，1題の特別講演で構成されるシンポジウム。国立医療国際研究センター所長 春日雅人先生による「糖尿病とその発症予防」が特別講演となる。

連絡先：「食」による生活習慣病予防医学の展開研究グループ（代表：井上啓　金沢大学フロンティアサイエンス機構）

メンバー：尾崎紀之，櫻井　武，山本靖彦，太田嗣人，檜井栄一，吉岡和晃

第18回外科侵襲とサイトカイン研究会

本研究会は，“外科侵襲学に関する基礎的および臨床的研究成果を発表し，会員相互の研鑽と親睦を図る”ことを目的に設立され，これまでに17回研究会が開催されております。なかでも，外科手術のみならず外傷・感染症・臓器移植などの治療に直接携わっている救命・救急医や外科系臨床医が中心となって，より安全・安心で質の高い医療の提供に繋がるようにとの思いを抱きながら，終日“侵襲学”に関する活発な討論を行う研究会として発展してきました。したがいまして，18回目を迎えます今回の研究会でもその趣旨を継承し，有意義で実りのある討論になることが予想できます。

開催日：平成23年12月10日　　場　所：金沢市文化ホール

問い合わせ先：金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学　TEL：076-265-2362　FAX：076-234-4260

（金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科）

脳医科学専攻シンポジウム“Neuroscience Day”

開催時間：平成24年1月30日（月）13：00～　　開催場所：金沢大学医学部記念館　2階

内　　容：本シンポジウムは大学院医学系研究科脳医科学専攻13分野が一同に会し，各分野のメインテーマの最新知見の紹介と大学院生のポスター発表を通じて，分野間の交流と共同研究の促進，さらに若手研究者の育成を目的に企画されたものであり，Neuroscienceの一層の発展を目指して行われる。

第3回　Basic Disaster Life Support (BDLS) 金沢プロバイダーコース

このたび，アメリカ合衆国（USA）における災害医学教育プログラムであるBasic Disaster Life Support（BDLS）プロバイダーコースを前回に引き続き金沢にて開催します。BDLSはBLS，BTLSと同様USAにおける災害の標準医学教育プログラムであり，アメリカ医師会（AMA）が運営するコースです。東日本大震災を経験し，災害に関する知識をもっと深めようと思われている方には最適なコースと思います。講義，スライドは全て日本語で行ない，内容はUSAそのままで開催します。

日　時：平成24年2月20日（月）8：00～19：00　　場　所：金沢医科大学病院本館4階　C4　1講義室

対象者：救急隊，看護師，医師等の医療従事者　150名程度　　参加費：10,000円（テキスト代，登録料含む）

講義内容：8時間の講義，筆記試験（全て日本語です。）なお，受講修了後日，AMAより受講修了書が発行されます。

不明な点がありましたら，金沢大学附属病院　集中治療部　谷口　巧

E-mail: kyukyu@med.kanazawa-u.ac.jp（集中治療部秘書　勝田）　TEL：076-265-2826 もしくは 076-265-2000（内線3423）まで

第24回日本喉頭科学会総会・学術講演会

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の中でも発声，呼吸，嚥下など生命の維持のみならず生活の質に大きく関与する喉頭に関して，基礎的，臨床的に専門領域を網羅して総合的に討議・教育する場として喉頭科学のさらなる発展に貢献します.

会　長：吉崎智一（金沢大学医薬保健研究域医学系　耳鼻咽喉科・頭頸部外科　教授）

会　期：平成24年3月8日（木）～9日（金）

会　場：金沢市文化ホール・金沢ニューグランドホテル

事務局：第24回日本喉頭科学会総会・学術講演会　事務局

金沢大学医薬保健研究域医学系　耳鼻咽喉科・頭頸部外科　事務担当　室野重之

TEL：076-265-2413　FAX：076-234-4265　E-mail：larynx24th-office@umin.ac.jp

ホームページ：http://www.larynx24.umin.jp

第48回日本腹部救急医学会総会

日本腹部救急医学会は発足当初より“若手の登竜門としての学会”を目指し，救急医療に携わる若手医師の教育を重視した形での運営が行われております。今回の第48回総会が，これからの腹部救急診療を担っていく救急医・外科系医師・内科系医師等の若手医師に“救急医療の魅力”を伝えながら，さらには各診療間連携の拡充を図って腹部救急の医療現場に新しい風を吹き込み，“救急医療ルネサンスへの新潮流”となるよう，鋭意準備を進めております。また，本会が，腹部救急医学の進歩発展ならびに普及をはかり，広く社会福祉の貢献に繋がるものであると確信しております。

開催日：平成24年3月14日～15日

場　所：石川県立音楽堂，ホテル日航金沢，ポルテ金沢

問い合わせ先：金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学　TEL：076-265-2362　FAX：076-234-4260

（金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科）